



2026年4月14日

各 位

会社名 株式会社エルテス
 代表者名 代表取締役社長 菅原 貴弘
 (コード番号: 3967 東証グロース)
 問合せ先 取締役経営戦略本部長 伊藤 豊
 (TEL. 03-6550-9280)

通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は個別業績予想を開示しておりませんが、2026年2月期の個別業績につきまして、前年事業年度の実績値との対比において、その差異が適時開示の基準に達しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2026年2月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	2,514	200	205	109	18.23
当期実績 (B)	2,744	313	295	△42	△6.89
増減額 (B) - (A)	230	113	90	△152	
増減率 (%)	9.2	56.5	43.9	△138.4	

(差異の理由)

営業秘密の持ち出し事件の発生などを追い風に、エンタープライズ向けのリカーリング収益中心の内部脅威検知サービス (IRI) において、サービス解約率が低い水準で推移したことに加えて、既存案件でのID追加が、事業拡大に貢献してまいりました。また、サービス原価や全社費用管理の徹底などにも取り組んでまいりました。この結果、売上高は堅調に推移し、営業利益、経常利益が前期実績値を大きく上回りました。

一方で、当期純利益は、以下に記載の子会社株式評価損 (415百万円) を特別損失として計上し、△42百万円の当期純損失となりました。

2. 特別損失について

当社連結子会社である株式会社JAPANDXの株式の実質価額の下落について精査した結果、2026年2月期第4四半期当社個別決算において、2026年4月10日付公表の見込み値を上回る子会社株式評価損 (415百万円) を特別損失として計上することになりました。なお、当該子会社株式評価損につきましては、連結決算上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

なお、通期連結業績につきましては、本日開示の「2026年2月期決算短信 [日本基準] (連結)」をご参照ください。

以上